

寄宿舎を利用してみませんか

寄宿舎は、幼児、児童、生徒が起床から就寝までの日課を通し、基本的な生活習慣を身につけ、異年齢の子どもたちとの集団生活を体験することで、協調性と自立心を養い、自立に向けた生きる力を育てられる場所です。



寄宿舎で取り組んでいること

- (1) 望ましい生活習慣と基本的な生活習慣を身に付けられるように、日課に沿って支援しています。
- (2) 健康で安全に生活できる環境を整えています。
- (3) 寄宿舎生活を豊かにするために、全体行事や個別の余暇活動を行っています。
- (4) 自治会活動で話し合いを経験し、責任感や他者を認める心を育てています。
- (5) 地域の子どもたちと交流を行い、コミュニケーション能力と、社会性を伸張させ、遊びの幅を広げています。



入舎の基準

- (1) 遠隔地（札幌市以外）のため、通学が困難な場合（冬期間のみ通学が困難な場合を含む）。
- (2) 札幌市内居住であるが通学に困難を感じており、入舎を希望する特別な事由がある場合。

※入舎は、校内検討し、校長の決定後になります。

体験入舎も受け入れています。ご相談ください。



諸経費について

- (1) 活動費として小中学生1,000円を毎月お預かりして、年齢に合わせた経験学習に使用しています。

(2) 家賃や光熱費の経費負担はありません。

・食費 (令和8年4月現在の単価 単位円)

	朝食	昼食	夕食
幼稚園	290	300	450
小学部	300	320	480
中学部	310	370	510

※食費は就学奨励費の対象となります。詳細はお問い合わせください。

- (4) 寄宿舎へ来るとき、自宅へ帰省するときの交通費は、北海道の決まりがありますが、就学奨励費の対象となります。詳細はお問い合わせください。



主な年間行事(例)

1学期	4月 歓迎会(進級を祝う会) 5月 舎外清掃、避難訓練(火災)、鯉のぼり揚げ 6月 外出レクリエーション 7月 七夕、安全指導(夏休みの生活)	
2学期	9月 夏のレクリエーション 10月 避難訓練(地震) 11月 舎内清掃、お月見 12月 クリスマス会、安全指導(冬休みの生活)	
3学期	1月 避難訓練(積雪時の避難) 2月 節分 3月 退舎生を送る会、ひな祭り	

上記以外に

- ・寄宿舎生の誕生月には、誕生会を行っています。
- ・自治的活動や集団遊びを定期的実施しています。
- ・地域の放課後児童クラブと交流をしています。



一日の流れ(日課) 中学部の日課を記載しています。

時間	日課	活動の内容
15:15	帰舎 余暇活動 自由時間	中学部は部活後に帰舎する舎生もいます 係活動をすることがあります 自由に活動できます
17:15	配膳当番	寄宿舎指導員と一緒に食事の準備をします
17:45	夕食	マナーを学び、様々な食の経験をします
18:30	入浴 自由時間	20時まで入浴できます。火曜と木曜はシャワ 一浴になります
22:00	消灯	年齢に応じた睡眠時間を確保しています
7:00	起床	自主起床できるよう支援しています
7:30	朝礼 朝食	当番が司会をし、予定を伝えます しっかり食べ、授業に備えます
8:10	登校	必要な場合は、引率します

最後に

寄宿舎には、集団生活をする上で必要なルールがあります。家族と暮らす「自宅」よりも少しだけ窮屈なルールです。しかし、それは有意義で貴重な体験であり、将来の高校、大学での学生生活や、社会の一員として自立し、活躍するときに、必ずお子様の生きる力となるものです。自立できる力を高められるよう、入舎・体験入舎を検討していただけますようお願いいたします。「子どもに必要な力はなんだろう?」ということと一緒に相談しませんか?

ご興味、ご関心のある方は、お気軽に教頭、担任、寮務主任、寄宿舎へお声掛けください。

電話 011-716-2979 (代表電話)

Mail : sappororo-z0@hokkaido-c.ed.jp